



参考：World Resources Institute 「Millennium Ecosystem Assessment, 2005. Ecosystems and Human Well-being: Desertification Synthesis」、ほか

世界の砂漠化

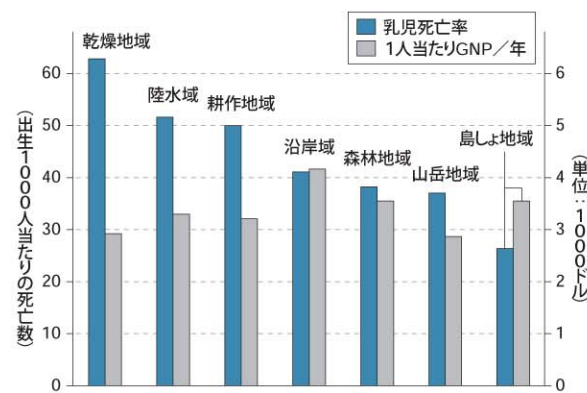
06

B 砂漠化の影響を受ける人々

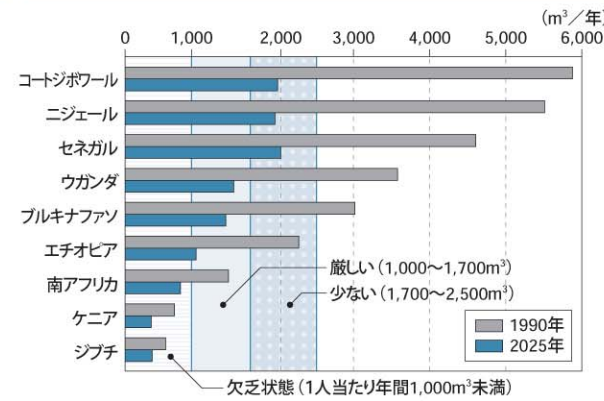
DATA

出典：World Resources Institute 「Millennium Ecosystem Assessment, 2005. Ecosystems and Human Well-being: Desertification Synthesis」、UNEP 「UNEP's Strategy on Land Use Management and Soil Conservation」

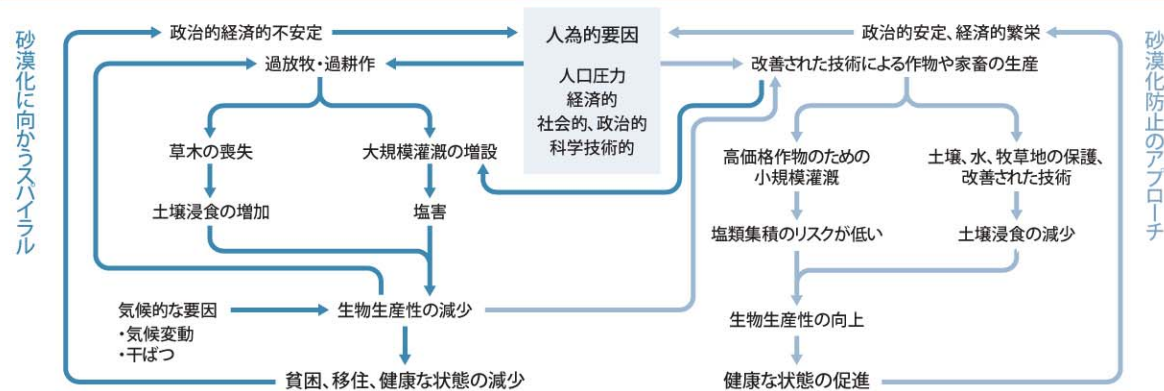
(グラフ1) アジアにおける地域別乳児死亡率と1人当たりGNP



(グラフ2) アフリカの1人当たり利用可能な水



(図1) 砂漠化と砂漠化防止のメカニズム



乾燥地の厳しい現実

砂漠化の影響を強く受けているのは、乾燥地に住む貧しい人々だ。彼らは、家畜、薪、建築材料など生活に必要なもののほとんどを地域の植物に頼っている。乾燥地の気候は不安定なので、雨が降りやすい時期はいいが、干ばつが続くとひとたまりもない。

乾燥地に属する途上国の平均乳児死亡率は54で、先進工業国の10倍も上回っている。グラフ1はアジアにおける乳児死亡率と1人当たり国民総生産 (GNP) を、生態系で区分した地域ごとに比べたものだが、乾燥地

の数値はどれも厳しい。グラフ2はアフリカの人々が得られる水の量の推測で、砂漠化などの影響により将来の水の量は一律に少なくなると予測されている。

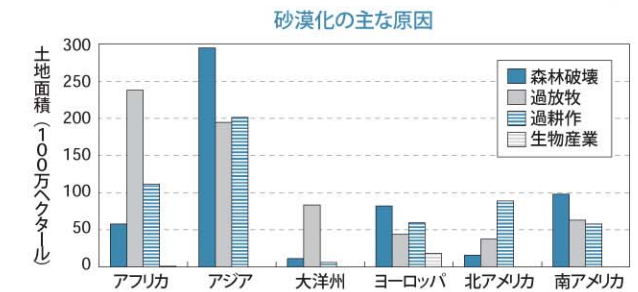
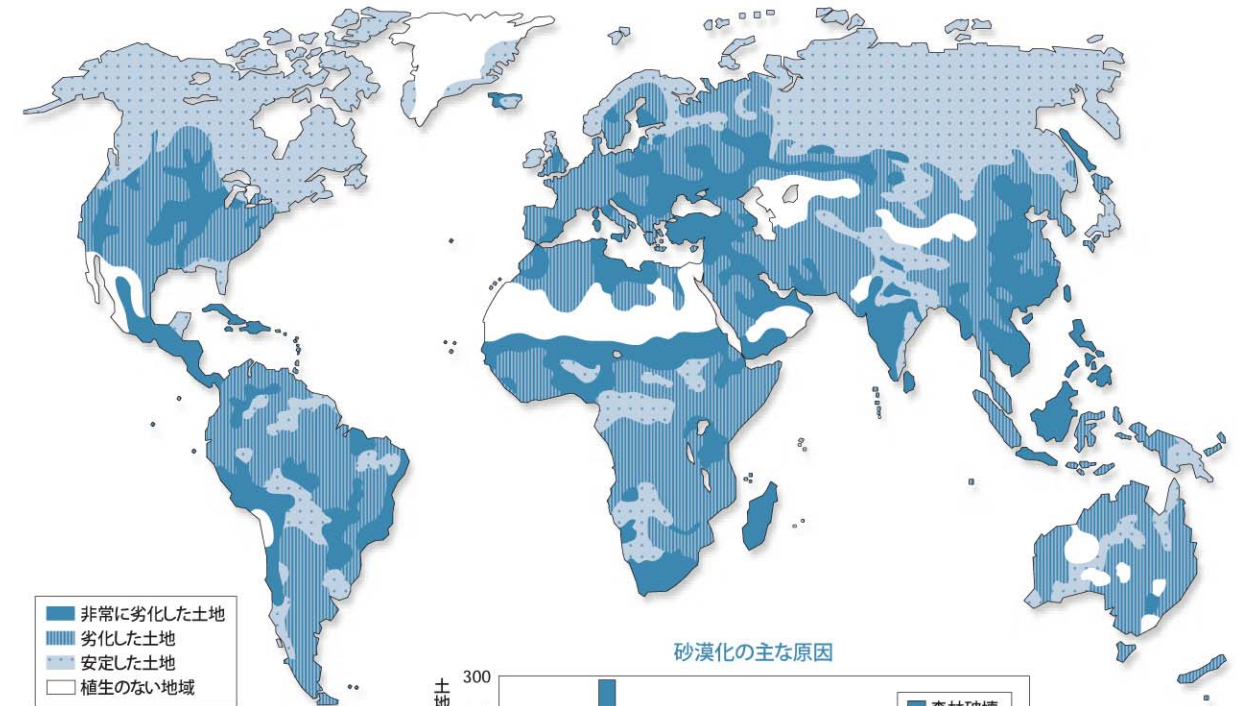
図1の左側が示すように、砂漠化の背景にはさまざまな要因がある。砂漠化が貧困や紛争を招き、またそれが砂漠化を促すという悪循環…。しかし、砂漠化を防ぐ道もある。それを示すのが図の右側だ。

乾燥地の住民はその貧しさゆえ、しばしば社会的政治的に軽んじられてきた。地域住民の主体的な取り組みを支援することが砂漠化防止のカギといわれている。

A 砂漠化危険地図

DATA

出典：砂漠化対処条約 (UNCCD) ウェブサイト、国連環境計画 (UNEP) 「UNEP's Strategy on Land Use Management and Soil Conservation」



人間活動がもたらす砂漠化

砂漠化対処条約は、砂漠化を「乾燥、半乾燥および乾燥半湿潤地域において、気候変動 (干ばつなど) や人間活動を含むさまざまな要因によって起こる土地の劣化である」と定義している。砂漠が厳しい自然条件のため、もともと植物が育たない地域であるのに対し、砂漠化地域とは土地が劣化し砂漠に似た状態に変化した場所を指す。

上の地図は、近年の地球の陸地の劣化の様子を示している。これを見ると、砂漠化は世界中で起きている

ことが分かる。その原因は、異常気象によるものもあるが、人為的なものがかなり大きいと考えられている。アフリカの場合、人口増加に伴う過放牧が、アジアの場合は森林破壊が最も多くの土地を砂漠化に追いやった。

乾燥地は陸地の約41%を占めるが、そのうち10~20%がすでに劣化し、生産性を失ってしまった。砂漠化対処条約事務局によると、砂漠化は2億5,000万人の暮らしと健康に直接影響を与え、100カ国以上の10億人を超える人々をも脅かしている。